


第3章

社会経済情勢の変化と 今後求められる視点



第3章. 社会経済情勢の変化と今後求められる視点

1. 社会経済情勢の変化への対応

将来の神戸の緑を考えるために、現在の私たちを取り巻く社会・経済の動きを正確に把握し、さらに将来にわたってどのような変化が起こりうるのかを認識することが大切です。

そこで上位計画である「神戸づくりの指針」で取り上げている社会・経済に関する現状の認識を参考にしながら、(1)人口減少、少子・超高齢化の進行(2)地球環境問題の顕在化(3)ライフスタイルや価値観の多様化(4)激化する都市間競争(5)地域主権とさらなる市民参画の推進の5つの変化にそって、それらから予想される緑への影響や期待について整理しました。

変化① 人口減少、少子・超高齢化の進行

- 都市内の人口流動による土地利用の変化や空き地等の増加
- 高齢者の健康づくりや子育ての場となる緑ある空間の必要性
- 就農者の減少や高齢化に伴う不耕作地*の増加
- 緑を支える地域活動の停滞や人材の不足
- 人にやさしく、安全な空間づくりへの期待

変化② 地球環境問題の顕在化

- CO₂吸収源*としての緑への期待
- ヒートアイランド現象の緩和につながる緑のあり方
- 生物の多様性を支える緑のあり方

変化③ ライフスタイルや価値観の多様化

- 様々なライフスタイルが受け入れられる緑豊かな都市空間のあり方
- 日々の暮らしを豊かにする緑のあり方

変化④ 激化する都市間競争

- 神戸らしさの演出と様々なICT(情報通信技術)*を活用した緑の情報発信
- 緑による魅力的な都市空間の創出
- 居心地のよい、賑わいのある空間の創出
- 神戸のシンボルである六甲山の魅力向上とその魅力の情報発信

変化⑤ 地域主権とさらなる市民参画の推進

- 緑の資産の有効な活用と適正な維持管理
- 地域主体の空間マネジメント
- 様々な人の力で、様々な人が恵みを受ける仕組み

2. これからの緑のまちづくりに求められる視点

1. で示した社会経済情勢の変化とそれらから予想される緑への影響や期待等をふまえ、今後新たな課題に対して的確に対応していくことが必要であり、成熟社会への転換期を迎える中で、これからの緑のまちづくりでは、以下に掲げる基本的な視点が重要であると考えます。これらの視点にそって神戸における緑の施策を展開します。

視点① あらゆる災害に備え、暮らしを支える安全で安心な緑

- 自然災害の発生防止や水源涵養*に寄与する緑
- 地域の防災力の向上に寄与する緑
- 安全で安心して利用できるオープンスペース
- 自然災害の記憶と経験の継承、防災意識の向上につながる緑

視点② 人と環境にやさしい緑

- CO₂吸収源としての緑
- いのちのつながりを支える緑
- ヒートアイランド現象を緩和する緑
- 誰もが利用しやすいオープンスペース

視点③ 魅力と活力を高めるデザインされた緑

- 景観の向上と賑わいを創出する緑
- 歴史や文化資産と一体となった緑
- 豊かな暮らしを演出する緑

視点④ 協働と参画のさらなる推進

- 人と人とのつながりを築く緑
- 緑を社会全体で支える仕組み
- 緑を学び、伝える仕組み